

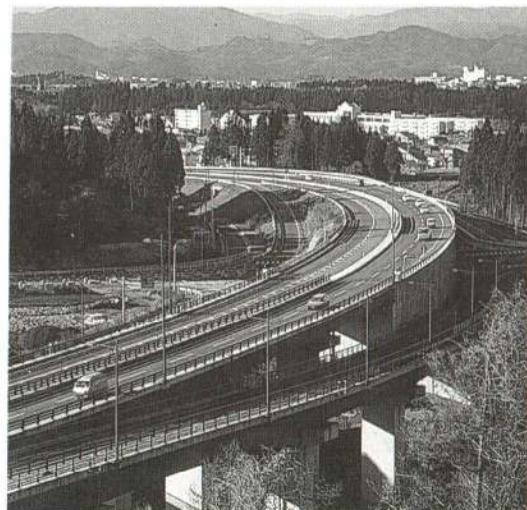
# 新年明けまして ございます

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
今年は、二十世紀最後の年でもあり、  
社会の動きは一層激しさを増すことが予  
想されます。こうした中で、二十一世紀  
に向けた「大館らしいまちづくり」を考  
えるとき、今年のキーワードは「地球  
環境」「高齢化社会」「地方分権」の三  
つになると 思います。

「地球環境」の保全については、地球  
温暖化などが人類の生存にとって重要な  
問題として認識されるようになり、資源  
循環型社会への早急な取り組みが求めら  
れています。また、四月から実施される  
介護保険制度など、「高齢化社会」におけ  
る高齢者を支えるシステムの整備にも努  
めなければなりません。さらには、「地  
方分権」を進めて地域の実情に合わせた  
サービスを提供することが重要な課題と



市長 小畠 元



なっています。

これらの課題解決のためには社会基盤、  
とりわけ経済基盤の確立が重要となります。そのため、今まで大館を支えてきた  
産業である農業、林業、鉱工業を新しい  
形態に変え、積極的に活性化することが  
不可欠です。農業は農薬使用の削減や農  
地の適正管理など、環境にやさしい農業  
のあり方が、林業は二酸化炭素を吸収し  
てくれる森林の整備や管理が求められて  
おります。また、鉱工業は、長い間培わ  
れてきた高度な技術と設備を生かしたり  
サイクル産業へ姿を変えることで、日本  
を支える産業に育てる必要があります。

二〇〇〇年代の幕開けとなる新年を迎  
え、これまで以上の意気込みで「大館ら  
しいまちづくり」に全力を傾注してまい  
りますので、市民の皆様には昨年同様の  
ご支援とご協力を願い申し上げます。